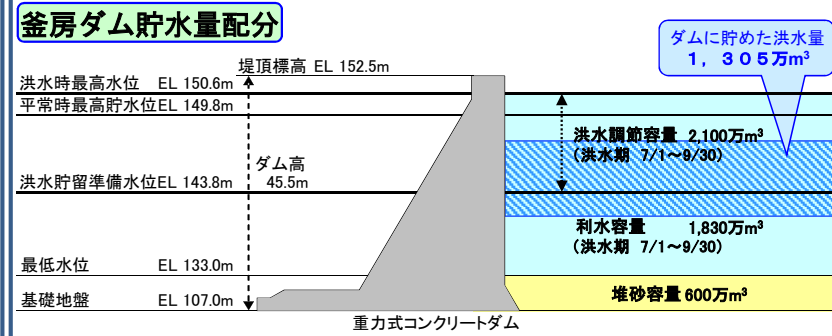
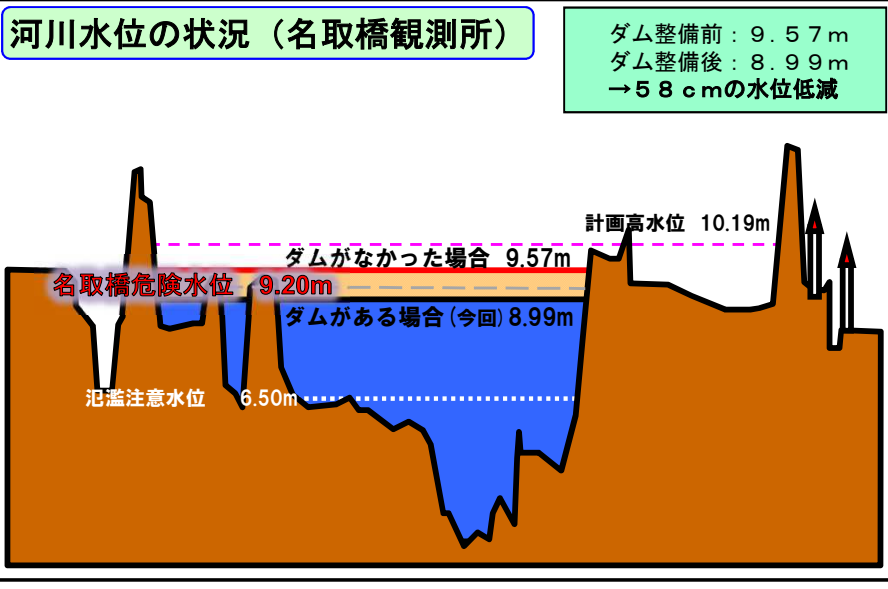
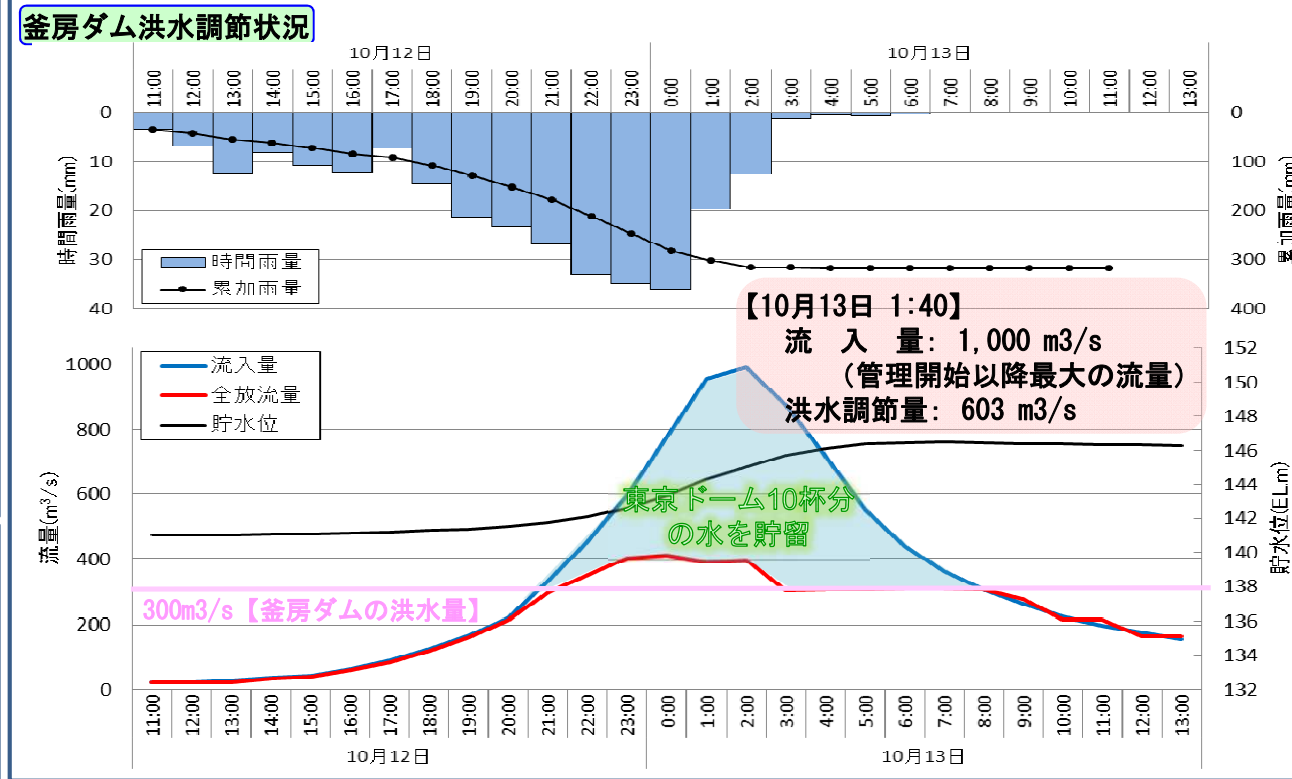


台風19号における釜房ダムの効果

(令和元年10月12日)

資料-6 (R2.1.15)

- 釜房ダム上流域において、流域平均累加雨量は318mm、最大流入量は**既往最大となる毎秒1,000m³**を記録しました。
- 今回の洪水期間中において、**1,305万m³**（東京ドーム約10杯分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- 釜房ダムでは、**下流域の被害をできるだけ軽減**するためのダム操作を行いました。
- ダム下流の名取橋観測所地点では、**58cmの水位を低減させ、危険水位への到達を防ぐ効果**があったものと推測されます。



名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（令和元年10月12日台風19号に伴う降雨）

釜房ダム貯留状況

防災操作前

防災操作後



10月11日 貯水位：140.98m

防災操作中



【放流状況 9:10】
流入量255m³/s 放流量245m³/s

【放流状況 3:50】
流入量745m³/s 放流量304m³/s



【貯水池 流木状況】



釜房ダム 洪水防御のあゆみ

台風19号により既往最大の流入量を記録

- 釜房ダムにおける洪水調節実績（流入量の上位10位/全31洪水）は下表のとおり。
- 洪水の多くは台風によるもの。（平成11年8月のみ低気圧による洪水。）
- 令和元年10月（台風19号）による洪水では、既往最大となる流入量を記録。
- この洪水は非洪水期に発生したことから、年間をととした洪水調節の意識が必要。



（順位は最大流入量）	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
年 月 日	R1. 10. 13	H14. 7. 10	H11. 8. 14	H1. 8. 6	S57. 9. 12	H1. 8. 27	S61. 8. 5	H23. 9. 21	H24. 6. 20	H6. 9. 29
最大流入量 (m ³ /秒)	1000.4	917.6	908.2	883.7	824	777.1	726.9	718	712.9	712.3
最大流入時の放流量 (m ³ /秒)	396.6	473.3	188.8	510.3	520	177.6	473.4	436.2	438.6	467.4
洪水調節量 (m ³ /秒)	603.7	444.3	719.4	373.4	304	599.5	253.5	281.8	274.3	244.9
総 雨 量 (mm)	318	223	423	228	160	190	307	346	183	250

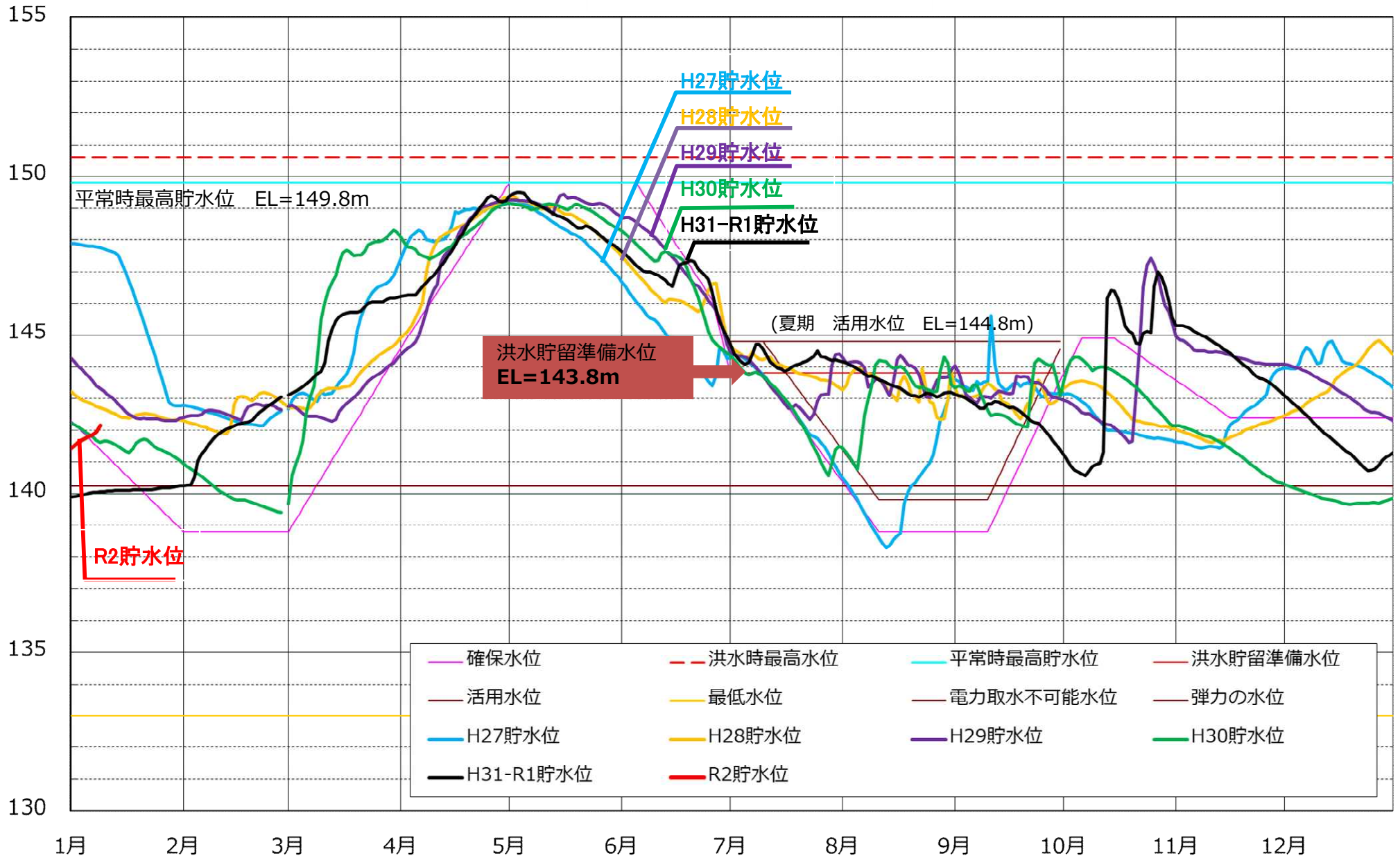
非洪水期

非洪水期

釜房ダム貯水位【令和2年1月9日現在】

貯水位(EL:m)

釜房ダム貯水位曲線



令和元年1月9日現在
EL142.15m